

授業科目 NO.401 基礎看護技術論 I

(対象の健康を評価する技術)

Fundamental Nursing Skills I
(Target Assessment Techniques)

授業の形態： 演習
単位数（時間数）： 2単位（60時間）
開講年次・学期： 1年次・後期
必修・選択の別： 必修
キーワード： アセスメント、ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメント、シミュレーション

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標（GIO）

ヘルスアセスメントに関する基礎知識、基礎技術を修得し、看護の視点で対象の健康についてアセスメントする能力を修得する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) ヘルスアセスメント（健康状態の評価）の意義、基本技術（問診、視診、触診、打診、聴診）を説明することができる。(②)
- (2) 対象の健康歴に関する情報を問診（面接）により収集することができる。(②)
- (3) 生命兆候を評価するためのバイタルサイン（体温・脈拍・呼吸・血圧）測定が実施できる。(②)
- (4) 測定したバイタルサイン（体温・脈拍・呼吸・血圧）について正常・異常を説明することができる。(②)
- (5) 正常に呼吸するための呼吸器系の症状に基づいた問診、身体診察が実施できる。(②)
- (6) 正常に呼吸する・生命を維持するための循環器系の症状に基づいた問診、身体診察が実施できる。(②)
- (7) 飲食・排泄するための消化器系の症状に基づいた問診、身体診察が実施できる。(②)
- (8) 身体を守るための皮膚のアセスメント方法が説明できる。(②)
- (9) 身体を動かすための運動器系のアセスメント方法が説明できる。(②)
- (10) 脳・神経、感覚器系のアセスメント方法が説明できる。(②)
- (11) 排泄するための泌尿器系のアセスメント方法が説明できる。(②)

- (12) 心理・社会状態のアセスメント方法が説明できる。(②)
- (13) 患者の状況、状態、背景、経過、測定結果、アセスメントを適切に報告する方法が説明できる。(①②)

3 学 修 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	40%
実習成績	%
レポート	20%
授業態度	%
小テスト	%
実技試験	40%
合計	100%

(特記事項)

実技試験の評価は、バイタルサインの実技を 10%、ヘルスセサメントの実技を 30%とする。定期試験成績および実技試験については、各評価割合の 6 割に満たない場合は再試験の対象となる。

5 教 育 担 当 者

科目責任者：宮永 葵子

教 授	松井 希代子 (基礎看護学)
講 師	宮永 葵子 (基礎看護学)
嘱託講師	杉森 千代子 (基礎看護学)
助 教	釜谷 友紀 (基礎看護学)
助 手	白藤 友紀 (基礎看護学)
非常勤講師	宮崎 彩乃
課長代理	石浦 夕奈 (クリニカル・シミュレーションセンター)
主 任	山下 敬吾 (クリニカル・シミュレーションセンター)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、全員が看護師としての実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 守田美奈子、鈴木憲史監修：新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス インターメディカ
- 2) 茂野香おる他著：系統看護学講座専門分野 I 基礎看護技術 [1] 基礎看護学 [2] 医学書院

8 推薦参考書

- 1) 山内豊明著：フィジカルアセスメントガイドブック 第2版、医学書院
- 2) 熊谷たまき他著：看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版、メディックメディア

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

講義・演習1コマにつき、事前学修・事後学修として計45分程度必要である。

初回のガイダンス時に説明を加えるが、概要を以下に示す。

- 1) 講義・演習前に、これまでに学修した看護学原論、人体の構造と機能（解剖・生理・生化学）、看護コミュニケーション論を想起する内容に関する事前課題がある。持参した課題をもとに講義・演習を進める。
講義・演習で次回の内容に関する課題を配布し、指定期日に提出する。
- 2) 講義・演習後に、学修内容に関する事後課題がある。
演習で実施した内容について記載し指定期日に提出する。
- 3) 指定教科書の講義・演習内容範囲を事前に読み、実技内容を確認しての出席が望ましい。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 提出された課題については、講義の中で取り上げ解説を行う。
- 2) 看護技術の実技評価の結果は個別指導につなぐ。
- 3) 試験内容に関しては、期間を設定し結果の提示、解説を行う。

11 履修上の注意事項

- 1) 各人が自発的に学びを深めるよう努力し、協調性を持って学修してほしい。
- 2) 少人数単位での学修の機会が多いです。ディスカッションでは、人の意見をよく聞き、相手を尊重してほしい。また、自ら積極的に発言してほしい。
- 3) 時間厳守で講義・演習を開始するので、遅れないでほしい。
- 4) 実習同様に身だしなみを整えて真摯な態度で臨んでほしい。
- 5) 実習着、指定のシャツ、実習靴を着用します。
- 6) レポート等の提出物は期日厳守のこと（評価の対象とします）。
- 7) 実習室、クリニカル・シミュレーションセンターの室内では、原則、飲食は禁止です。水分の持参は可能なので、休憩時間に休憩スペースで水分補給ください。
- 8) 第1回～6回、第13回～18回、第20回・21回は、AクラスとBクラスに分かれて行いますので、事前にシラバスを確認して下さい。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。不在時はメールで連絡ください。土日は、返答できないことがあります。
宮永葵子 (aiko3000@kanazawa-med.ac.jp)

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月01日(火)	1	講義	ガイダンス、ヘルスアセスメント(健康状態の評価)の意義、健康歴聴取、基本技術(問診、視診、触診、打診、聴診)		基礎看護学	宮永講師
後	2	10月01日(火)	2	演習	問診(面接)技術 健康歴聴取	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師
後	3	10月08日(火)	1	講義 演習	生命兆候を評価するためのバイタルサイン測定(体温・脈拍・呼吸測定)	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮崎非常勤講師, 松井教授, 宮永講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	4	10月08日(火)	2	演習	生命兆候を評価するためのバイタルサイン測定(体温・脈拍・呼吸測定)	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮崎非常勤講師, 松井教授, 宮永講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	5	10月15日(火)	1	演習	生命兆候を評価するためのバイタルサイン(血圧測定)	実技/グループワーク、 ワークシートを用いたアク ティブラーニング、レポート	基礎看護学	宮崎非常勤講師, 松井教授, 宮永講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	6	10月15日(火)	2	演習	生命兆候を評価するためのバイタルサイン(血圧測定)、バイタルサイン技術確認オリエンテーション	実技/グループワーク ワークシートを用いたアク ティブラーニング	基礎看護学	宮崎非常勤講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	7	10月22日(火)	1	演習	既習技術の統合	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	8	10月22日(火)	2	演習	既習技術の統合	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	9	10月24日(木)	4	講義 演習	栄養のアセスメント	実技/グループワーク	基礎看護学	宮崎非常勤講師, 宮永講師
後	10	10月29日(火)	1	演習	バイタルサイン技術確認	実技試験 レポート	基礎看護学, CSC	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手, 石浦課長代理, 山下主任
後	11	10月29日(火)	2	演習	バイタルサイン技術確認	実技試験	基礎看護学, CSC	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手, 石浦課長代理, 山下主任
後	12	11月05日(火)	1	講義 演習	皮膚のアセスメント	レポート	基礎看護学	宮永講師
後	13	11月26日(火)	1	演習	呼吸器系のアセスメント(模擬患者に対する問診シミュレーション、シミュレーターを用いた呼吸音の聴診) / バイタルサイン技術試験の振り返り	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 白藤助手
後	14	11月26日(火)	2	演習	呼吸器系のアセスメント(模擬患者に対する問診シミュレーション、シミュレーターを用いた呼吸音の聴診) / バイタルサイン技術試験の振り返り	実技/グループワーク	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 白藤助手
後	15	12月03日(火)	1	演習	循環器系のアセスメント(模擬患者に対する問診シミュレーション、シミュレーターを用いた心音の聴診、浮腫の触診)	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 白藤助手

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	16	12月03日(火)	2	演習	循環器系のアセスメント(模擬患者に対する問診シミュレーション、シミュレーターを用いた心音の聴診、浮腫の触診)	実技/グループワーク	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 白藤助手
後	17	12月10日(火)	2	演習	消化器系のアセスメント(模擬患者に対する問診・腸蠕動音の聴診・腹部触診)	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 白藤助手
後	18	12月10日(火)	3	演習	消化器系のアセスメント(模擬患者に対する問診・腸蠕動音の聴診・腹部触診)	実技/グループワーク	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 白藤助手
後	19	12月12日(木)	3	講義 演習	泌尿器系のアセスメント	レポート	基礎看護学	釜谷助教, 宮永講師
後	20	12月17日(火)	2	演習	シミュレーターを用いた心音・呼吸音の聴診、血圧測定/対象の健康を回復させる方法を考える	実技/グループワーク、 ワークシートを用いたアク ティブラーニング、レポート	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	21	12月17日(火)	3	演習	シミュレーターを用いた心音・呼吸音の聴診、血圧測定/対象の健康を回復させる方法を考える	実技/グループワーク、 ワークシートを用いたアク ティブラーニング、レポート	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	22	1月07日(火)	2	講義	患者状態、アセスメント結果の報告の実際 実技試験オリエンテーション	レポート	基礎看護学	宮永講師
後	23	1月14日(火)	1	講義 演習	運動器のアセスメント	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	24	1月14日(火)	2	演習	運動器のアセスメント	実技/グループワーク	基礎看護学	松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	25	1月15日(水)	1	講義 演習	脳神経・感覚器のアセスメント	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮崎非常勤講師, 松井教授, 宮永講師, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	26	1月15日(水)	2	演習	脳神経・感覚器のアセスメント	実技/グループワーク	基礎看護学	宮崎非常勤講師, 松井教授, 宮永講師, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	27	1月21日(火)	2	演習	既習技術の統合 実技試験オリエンテーション	実技/グループワーク レポート	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	28	1月21日(火)	3	演習	既習技術の統合	実技/グループワーク	基礎看護学	宮永講師, 松井教授, 杉森講師, 釜谷助教, 白藤助手
後	29	1月31日(金)	3	講義	心理・社会状態(不安、役割遂行、自己概念、楽しみ、療養法の修得)のアセスメント	レポート	基礎看護学	宮永講師
後	30	1月31日(金)	4	講義	心理・社会状態(不安、役割遂行、自己概念、楽しみ、療養法の修得)のアセスメント 科目のまとめ		基礎看護学	宮永講師